

2021年度活動報告書

三輪眞弘 / 教授

今年度の活動

学長の任期を終え、多くのストレスから開放され新たに図書館長としての役割を引き受けた。図書館長としての通常業務の負担は大きくないが、「岐阜おおがきビエンナーレ」や岐阜県美術館と共催の「IAMAS ARTIST FILE」の実施や将来的な体制づくり、また、提案されてきたメディアクリエーション・センター（仮）の新設に向けた今後の方針などが図書館運営委員会の中で話し合われた。

また、昨年度総力を挙げて取り組んだサラマンカホール主催、京都大学人文科学研究所とIAMAS（タイムベースメディア・プロジェクト）との共催によるサラマンカホールからの無観客ライブ配信「ぎふ未来音楽展2020 三輪眞弘祭 - 清められた夜 -」に対する2020年度第20回佐治敬三賞、また、「わが国の洋楽の発展にもっとも顕著な業績をあげた」個人として2020年度 第52回の「サントリー音楽賞」の贈賞式がサントリーホールで11月19日に行われた。



第52回サントリー音楽賞と第20回佐治敬三賞の贈賞式

学外の活動

作品発表

- ・ 7/31 大阪市立大学田中記念館、西村彰洋ピアノリサイタル「ピアノのできること／できないこと」でフォルマント兄弟（版）：さくらと一郎／昭和枯れすゝき（1974）初演！

- ・ 8/ 6 Max Summer School 2021コンサートでフォルマント兄弟（版）：さくらと一郎『昭和枯れすゝき』（1974）再演！「フォルマント兄弟の人工音声ライブ！」配信
- ・ 9/ 5 ロームシアター、マルガサリ定期公演「花のみち」で『愛の讃歌』を再演！
- ・ 11/ 6 -11/21アーツ千代田3331、「サウンド&アート展」で『Thinking Machine』再展示！（11/21にトークイベント！）
- ・ 11/27 名古屋の運河、「ストーリーミング・ヘリテージ 2021」で『フォルマント兄弟の SHOW BOAT — 人工音声のための都々逸とムード歌謡 —』
- ・ 12/21 - 25 アトリエみつま、ファルマコン2021「死生への捧げもの」で「三輪祭 -清められた夜-」のダイジェスト版を展示！



フォルマント兄弟の SHOW BOAT

講演、その他

- ・ 11/ 7 THEATRE E9 KYOTO、足立智美《ロミオがジュリエット》アフタートークに登壇

教育活動

- ・ V 8/ 2 - 5 東京芸術大学Max Summer School 2021で初級講座を担当
- ・ 2022. 3/ 6 インターカレッジ・ソニックアーツ・フェスティバル 2021及び第47回JSSA研究会にIAMASとして参加（学生の作品・研究発表）

研究活動

- ・ 京都大学人文科学研究所「21世紀の人文科学 - Our Ageを問う」研究班、班員（通年）
- ・ 京都大学人文科学研究所「「システム内存在としての世界」についてのアートを媒介とする文理融合的研究」研究班、班長（通年）

社会的活動

- ・ 先端芸術音楽創作学会インターカレッジ・ソニックアーツ・フェスティバル運営委員
- ・ 清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2020企画委員
- ・ 日本作曲家協議会理事
- ・ 日本電子音楽協会理事
- ・ 入野賞審査委員
- ・ 第72回芸術選奨芸術振興部門選考審査員

受賞

パブリケーション

出版：

新聞・雑誌：

- ・ 2022/3 『民族芸術学会誌 arts/』 vol. 38
評論 | ショパン・コンクールと「4ビット・ガムラン」 by 伊東信宏

放送・ウェブ：

- ・ 6/24 岐阜放送「美の精華」で三輪真弘特集放送
- ・ 2022 4/3 京都芸術大学 Institute of Contemporary Arts の REALKYOTO FORUMに”「GEIST — 『多元な音響空間』の実現に向けた自動演奏楽器、入出力装置、および作曲・演奏法の開発」公開実験レビュー”を寄稿

学内での活動

- ・ プロジェクト：タイムベースドメディア・プロジェクト代表
- ・ 担当授業：メディア表現特論A、特別研究（作品制作、論文指導）
- ・ 個人プロジェクト：作曲、執筆ほか
- ・ 学内での役割：図書館長をなんとか努めた